

平成 28 年 4 月 15 日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上岡 崇
 (コード番号 6938 東証第1部)
 問合せ先 経営推進本部経営企画室長 中西 港二
 (TEL 03-5730-4500)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年3月期連結会計期間において、下記の通り特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失の計上および最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年1月 29 日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

産業機器市場において、自動車向け厚膜印刷基板の需要が採用車種の減少等により当初予測から減少すること、および産業用コンデンサ、産業用フィルタの売上が中国市場の減速等により想定を下回ることから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、平成 28 年3月期において減損損失 657 百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

(1)平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,700	△100	0	△370	△23.72
今回修正予想(B)	10,770	25	120	△790	△50.64
増減額(B-A)	70	125	120	△420	—
増減率(%)	0.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	11,274	266	436	288	18.50

(2) 平成 28 年3月期通期連結業績予想修正の理由

第 4 四半期に入り産業機器向け、情報通信機器向け共に売上高は回復の兆しを見せ前回発表予想より増加いたしました。また利益面では、売上増および製品構成の変化、経費圧縮等により営業利益、経常利益で前回予想を上回り、黒字の見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は上記特別損失を計上したことにより前回予想を下回る見込みとなりました。

(注 記)

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束するものではありません。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上